

平成 29 年度事業報告

社会福祉法人 太田福祉記念会

《 理念 》

- 一、私たちは、利用者の人権を尊び、安らぎと生きがいづくりに努めます。
- 一、私たちは、地域福祉の向上を目指し、保健・医療・福祉の連携をすすめます。
- 一、私たちは、常に専門職として、愛の心と技術の向上に努めます。

平成 29 年度事業報告の概要

★ 理念「誓いの言葉」の実現に向けた戦略的重点項目

- ①職員の育成による質の高い介護サービスの提供
- ②地域福祉からのまちづくり参画
- ③計画的財務管理による健全経営の維持

改正された社会福祉法が求める役割を担うべく全職員が一致して取り組む新たな戦略的重点事項を定め、当面必要な事業を計画的に実施した結果、目標を概ね達成することができた。

財務運営

- ・収入の確保 ①空床期間短縮化等による稼働率の維持 ②公的補助金導入など
- ・支出の削減 ①入札、見積り合わせの多用化 ②節電、節水等経費節減の徹底

新規事業

- ・研修体制の充実 採用 6 年次研修
- ・子ども朝ごはん事業 ①熱海小・中学生への朝ごはん提供事業 PR 実施と提供体制の強化
②小中学生への朝食提供事業連絡会議 3 回開催
- ・生活困窮世帯支援 生活困窮世帯の子どもへの学習支援の会場と昼食を提供。
NPO 法人と連携し 1 回開催。

[1] 平成 29 年度重点事業プラン

★ 経営戦術基本方針

「地域貢献事業の企画・実施」

「福島県一質の高い介護サービスを提供しよう」

1. 太田福祉記念会地域貢献事業

★ (1) 子ども朝ごはん提供事業等

①子ども朝ごはん提供事業

PR チラシ配布 回覧板 3 回 4,566 枚、ポスティング 2 回 192 枚、学校 2 回 540 枚
朝食提供訓練による体制強化 2 回延 19 名

②生活困窮世帯の子どもを対象とした学習支援

NPO 法人と連携した生活困窮世帯の子どもの学習支援として会場と昼食を提供。
参加児童 7 名、NPO 職員 3 名

★=新規項目

(2) 地域密着支援事業

- ①「感謝祭 2017」へ横川・青木葉地区の高齢者 14 名の送迎を実施。(熱海地区)
- ②除雪ボランティア通算 6 年目。参加職員 10 名 高齢者 4 世帯の除雪を実施。(湖南地区)

2. 質の高い介護サービス提供事業

ヒヤリハット撲滅年間運動の展開

- ・平成 29 年 4～6 月 「転倒・転落ゼロにチャレンジ」 目標 0 件 実績 10 件
玉川ホーム 8 件、あたみホーム 2 件 (前年 玉川ホーム 8 件、あたみホーム 7 件)
- ・平成 29 年 7～9 月 「脱水症状ゼロにチャレンジ」 目標 0 件 実績 5 件
玉川ホーム 3 件、あたみホーム 2 件 (前年 玉川ホーム 0 件、あたみホーム 2 件)
- ・平成 29 年 10～12 月 「口腔ケアにチャレンジ」 目標 0 件 実績 3 件
玉川ホーム 3 件、あたみホーム 0 件 (前年 玉川ホーム 3 件、あたみホーム 1 件)
- ★ ・平成 30 年 1～3 月 「感染症発生ゼロにチャレンジ」 目標 0 件 実績 27 件
玉川ホーム 13 件、あたみホーム 14 件 (前年 玉川ホーム 6 件、あたみホーム 10 件)

3. きらきら人材育成事業

(1) 基本研修

- ①新採用職員ガイダンス 受講者 3 名 平成 29 年 4 月 3 日 予定どおり実施。
- ②新採用職員研修 (3 カ月間・6 回)
受講者 3 名 平成 29 年 4 月 19 日～6 月 21 日 予定どおり実施。
- ★ ③採用 6 年次職員研修 (6 カ月間・12 回) 受講者 8 名 予定どおり実施。
平成 29 年 8 月 9 日～平成 30 年 1 月 24 日

(2) 外部専門研修等派遣

職種別専門研修 (県内外) 年間 96 講座 延 184 名 (年間目標: 100 講座 延 150 名)

- ①養介護施設従事者による高齢者虐待防止研修 (郡山市) 4 名×1 回 平成 29 年 5 月 26 日
2 名×3 回 平成 29 年 10 月 13 日、11 月 17 日、12 月 11 日
- ②介護事業者合同宿泊研修 (郡山市) 2 名×2 回
平成 29 年 7 月 4 日～5 日、平成 30 年 2 月 6 日～7 日
- ③社会福祉法人主任係長講座 (東京都) 1 名 平成 29 年 7 月 24 日～25 日
- ④社会福祉法人評議員研修 (郡山市) 5 名 平成 29 年 8 月 1 日
- ⑤社会福祉法人理事研修 (郡山市) 3 名 平成 29 年 9 月 4 日
- ⑥障害者職業生活相談員資格認定講習会 (福島市) 1 名 平成 29 年 9 月 26 日～27 日
- ⑦特別養護老人ホーム介護職員合宿研修 (東京都) 1 名 平成 29 年 11 月 6 日～9 日
- ⑧福祉ビジョン 21 世紀セミナー (東京都) 1 名 平成 29 年 11 月 29 日～30 日
- ⑨福島県社会福祉法人経営者協議会セミナー (全国社会福祉法人経営者協議会共催)
前期 (福島市) 1 名 平成 29 年 7 月 31 日
後期 (郡山市) 1 名 平成 30 年 1 月 26 日 ※子ども朝ごはん提供事業の実践発表
- ⑩高齢者福祉事業経営セミナー (東京都) 1 名 平成 30 年 2 月 14 日

[2] 本部事業

1. 法人運営の安定化

(1) 中・長期経営計画の研究・策定

- ・10年先を見据えた長期経営計画の研究・策定作業に着手、継続中。

(企画調査班会議 5回開催)

(2) 玉川ホーム中央棟改修工事

- ・設計委託、施工監理、契約締結。本体改修工事入札執行(総事業費 498,453,480円)
平成29年10月5日着工、平成30年8月31日竣工予定 計画どおり着工。

(3) 法人創立40周年事業

- ・実施事業(案)の検討

- ①同事業実行委員会を設置
- ②統一した法人マーク及び会章、会旗を決定
- ③同関係規程等の一部改正
- ④新ユニホームの検討

(ユニホーム検討委員会 9回開催) 随意契約により計画どおり発注。

(4) 経費節減

内訳 ①指名競争入札による実績 14%節減 金額 2,037,800円(目標:支出予算額▲3%)

②事業消耗品等の購入 12%節減 金額 235,612円

修繕費用 11%節減 金額 191,800円

③法人施設全体の電力消費量 前年度比 ±0%(電気料金は単価増により+7.2%)
(東日本大震災発生後の平成23年度比▲6.4%、発生前の平成22年度比▲13.9%)

④法人施設全体の水道消費量 前年度比 ▲4.1%(1,673 m³節減)

(5) 公的助成制度の導入

・環境省 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 729,000円

・福島県 地域医療介護総合確保基金事業補助金 450,000円

・福島県 ふくしま産業復興雇用支援助成金 200,000円

・郡山市 ケアハウス事務費補助金 25,164,000円

結核予防事業費補助金 342,000円

・福島労働局 特定求職者雇用開発助成金 250,000円

・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者雇用調整金 324,000円

(6) 労働環境の整備

- ・認定マーク「えるぼし*」取得をはじめとする当法人の女性活躍推進の取り組み事例が、内閣府発行の2017年版男女共同参画白書に掲載された。

*女性の活躍推進に関する取組みが優良な事業主が、厚労大臣から認定を受けた場合に使用できるマークの愛称。

- ・全職員アンケート実施 有給休暇取得を推進するためのデータ収集。

(アンケート対象者 226名 回収件数 223件 回答率 98.6%)

2. 有能人材の確保・育成

(1) 職員採用 目標 7 名 実績 9 名

①参加行事等

- ・教育機関個別訪問（3 校） ・福祉の職場合同就職説明会参加（1 回）
- ・介護労働安定センター実務者研修修了者就職説明会参加

②募集広報

- ・正職員採用試験を計画どおり実施。（年 1 回）
- ・ハローワーク ・求人広告掲載 12 件（広告料 1,485,724 円） ・ホームページ掲載
- ・無料職業紹介所（福島県看護協会、福島県栄養士会） ・職員へ人材紹介の協力要請

※介護職（正職員）の離職率 4.42%（前年度 2.67%・全国平均 16.7%）

3. 苦情受付状況

苦情、要望の受付件数

玉川ホーム 1 件、あたみホーム 1 件、太田指定居宅介護支援事業所 1 件

苦情解決合同委員会の開催（平成 30 年 2 月 16 日）

[3] 特別養護老人ホーム

1. 利用者に質の高い介護サービスを提供

(1) 経口食事摂取維持への支援（共通）

- ★ ・経口維持加算算定人数 玉川ホーム 30 名（目標 20 名）加算額合計 760,000 円
あたみホーム 77 名（目標 40 名）加算額合計 2,720,000 円

★ (2) 看取り介護体制の充実（玉川ホーム・南棟）

- ・看取り介護実施人数 1 名
- ・看取り介護実施意向確認 1 家族が希望

★ (3) 排泄ケアの充実（あたみホーム）

- ・多職種による排泄コントロールに成功した利用者 5 名中 3 名

(4) 身体拘束の廃止

- ・身体拘束廃止人数 玉川ホーム 9 名中 3 名、あたみホーム 6 名中 2 名

2. 健全な財務体制の確保と業務効率化の促進

事業所名	長期入所者数(稼働率) ※下段は 29 年度計画値	短期入所者数(稼働率)	※下段は 29 年度計画値	
			介護	介護予防
玉川ホーム	164.1 名/日 (96.5%)	13.4 名/(67.0%)	13.4 名/日	0.0 名/日
	163.5 名/日 (96.1%)	14.2 名/日 (71.0%)	14.1 名/日	0.1 名/日
あたみホーム	95.6 名/日 (95.6%)	16.0 名/(76.1%)	15.4 名/日	0.6 名/日
	96.5 名/日 (96.5%)	16.3 名/日 (77.6%)	15.8 名/日	0.5 名/日

(1) 空床期間の短縮化（共通）

- ・玉川ホーム、あたみホーム合同入所検討委員会開催 4 回（前年度 6 回）
- ・ベッド空床期間平均
玉川ホーム 3.0 日（前年度 5.0 日） あたみホーム 6.8 日（前年度 11.8 日）
- ・緊急のショートステイ受入 玉川ホーム 0 名、あたみホーム 6 名

★ (2) 玉川・あたみ両ホームが連携した入所受入れ（共通）

- ・玉川ホームのショートステイ利用者を、あたみホームで優先し受入れ
改修工事期間中 6 名

(3) 効率的な業務及び職員配置の研究（共通）

- ・両ホーム合同病院等送迎実施回数 4 回（前年度 5 回）
- ・育児休業取得職員 玉川ホーム 4 名（100%）、あたみホーム 4 名（100%）
- ・派遣介護職員受け入れ 1 名（育児休業等代替のため）

(4) ショートステイ利用者に対する個別機能訓練の強化（あたみホーム）

- ・個別機能訓練加算算定 実績 44 名 加算額合計 703,360 円（前年度 17 名 442,960 円）

3. 職員の育成

(1) 新採用職員の職場教育の実践

- ・新採用職員 玉川ホーム 2 名（教育担当職員 2 グループ 4 名）

(2) 内部研修会の充実（共通）

開催年月日	講義内容	講師	参加者
平成 29 年 5 月 24 日	「食中毒予防について」	松波摩央先生（郡山市保健所生活衛生課主査）	63 名
平成 29 年 10 月 18 日	「感染症予防について」	薄井真理子先生 （太田西ノ内病院感染管理認定看護師）	86 名
平成 29 年 12 月 20 日	「褥瘡防止対策について」	黒羽里美先生（太田熱海病院理学療法科課長補佐）	70 名

(3) 痰の吸引等の研修（共通）

福島県喀痰吸引等実地研修

玉川ホーム 4 名（平成 30 年 1 月 25 日～平成 30 年 3 月 31 日）

あたみホーム 1 名（平成 30 年 2 月 14 日～平成 30 年 3 月 30 日）

※福島県から委託を受け、介護職員等による痰の吸引等のための研修事業を実施。

[4] ケアハウス

1. 稼働率の向上

事業所名	入居者数（稼働率） ※下段は 29 年度計画値 【定員 30 名】	1 人部屋（稼働率）	2 人部屋（稼働率）
		【定員 28 名】	【定員 2 名】
グリーンライフ小磯	27.1 名/日 (90.3%)	25.1 名/日 (83.6%)	2.0 名/日 (6.7%)
	28.0 名/日 (93.3%)	26.0 名/日 (86.6%)	2.0 名/日 (6.7%)

(1) 新規入所者の確保及び施設のPR

- ・地域包括支援センター等からの照会件数 8 件 うち入居 2 件（前年度 5 件 うち入居 2 件）
- ・新規入居者数 3 名、退居者数 7 名（前年度新規入居者数 4 名、退居者数 1 名）
- ・市内地域包括支援センター訪問 PR 活動を予定どおり実施 17 カ所（目標 17 カ所以上）

(2) 介護予防の推進

- ・運動器訓練等を行う元気クラブ 年 192 回（週 4 回）1 回平均 15 名 年間延 2,880 名
- ★ ・ボランティアと連携したクラブ活動 かさ（千代紙）制作活動年 1 回

2. 入居者の生活環境改善

(1) 入居者同士懇談会開催 実績 3 回 目標年 2 回以上

(2) 入居者満足度調査の実施

平成 30 年 3 月 1 日～平成 30 年 3 月 3 日実施 26 名中回答 25 名（回答率 96.1%）

具体的改善項目

- ・入居者同士のトラブル防止のため、食堂等の座席を定期的に交換。

(3) サービス担当者会議 計画どおり開催 29 回（入居者 1 人あたり 1 回）

[5] 在宅の介護・支援サービス

I. デイサービス

1. 利用者の自立を支援する質の高い介護サービスを提供

(1) 自立支援を意識した取り組み（太田デイサービス）

- ★ ・希望者への朝食提供開始 実利用者 7 名、延 838 食
- ・詩吟や歌の発表会等交流の場の設定・提供 年 18 回
- ・要支援者の機能回復訓練 計画どおり実施 延 1,413 名
- ・クラブ活動 計画どおり実施

実施活動	年間実施数	実施活動	年間実施数
さをり織り	23 回	大正琴	28 回
壁画・カレンダー作り	5 回	カラオケ	8 回
ゲーム	134 回	音楽会	22 回
リラクゼーションヨガ	18 回	—	—

- ・上下肢集団体操 計画どおり実施 年 310 回

(2) 自立支援と認知症進行防止の取り組み（太田玉川デイサービス）

- ・改善傾向が見られた利用者 88 名中 10 名（前年度 89 名中 10 名）
- ・塗り絵や計算ドリル、漢字の書き取りなどを行った利用者 20 名

(3) 個別ケアの充実（太田小磯デイサービス）

- ・口腔ケアを実施し嚥下機能が維持された利用者 61名中61名
- ・個別機能回復訓練、レクリエーション活動により要介護（支援）度を維持した利用者 61名中56名（前年度65名中50名）

2. 健全な財務体制の確保

事業所名	営業日数	利用者数	※下段は29年度計画値			実利用者数	
			介護	介護予防	認知症		うち新規
太田デイサービスセンター	310日	24.4名/日	19.6名/日	4.8名/日	-	92名	25名
		24.4名/日	19.6名/日	4.8名/日			
太田玉川デイサービスセンター	257日	25.8名/日	19.7名/日	2.8名/日	3.3名/日	88名	24名
		26.0名/日	19.4名/日	3.0名/日	0.2名/日		
太田小磯デイサービスセンター	257日	17.2名/日	14.4名/日	2.8名/日	-	61名	8名
		17.1名/日	14.3名/日	2.8名/日			

II. ホームヘルプサービス

○サービス水準の維持と財務改善

(1) サービス水準の維持

- ・訪問介護計画書作成人数 16名（前年度60名）

(2) 財務状況の改善

事業所名	利用者数	※下段は29年度計画値			
		熱海		小磯分室	
		介護	介護予防	介護	介護予防
太田訪問介護事業所	12.1名/日	8.4名/日	2.7名/日	0.2名/日	0.8名/日
	14.0名/日	9.0名/日	4.1名/日	0.2名/日	0.7名/日

- ・市内居宅介護支援事業所等定期訪問PR活動を予定どおり実施 2カ所(目標2カ所以上)

III. 居宅介護支援サービス

○質の高いケアプランの作成とバランスのとれた収支の確保

(1) 質の高いケアプランの作成

- ・保健・医療・福祉の効果的なサービス計画作成 287件（前年度243件）
- ・退院調整によるサービス計画作成 19件（前年度29件）
- ・郡山市等から依頼された介護認定調査 38件（前年度79件）
- ・認定調査員研修等講座 延5名派遣（目標延4名）

(2) 収支バランスのとれた財務体制を維持

事業所名	利用者数 ※（ ）は29年度計画値
太田指定居宅介護支援事業所	149.5名/月 （150.2名/月）

IV. 地域包括支援センター

1. 地域に根ざした包括的なサービスを提供

(1) 地域包括ケアシステムへの対応

- ・ 湖南町の地域ケア会議 実績4回（個別ケア会議2回、圏域会議2回）目標年3回以上

(2) 地域高齢者の介護予防推進

①地域介護予防教室（湖南地区行政センター保健師、湖南地区社会福祉協議会と連携。）

実績 11 地区 参加者 247 名（前年度 137 名）

地区名	開催年月日	参加者	地区名	開催年月日	参加者
浜路	平成29年11月10日	7名	福良	平成29年11月21日	13名
館	平成29年11月14日	11名	東岐	平成29年12月7日	11名
//	平成30年2月15日	10名	赤津秋山	平成29年6月14日	13名
舟津	平成29年11月30日	18名	//	平成29年11月20日	17名
中野	平成29年12月14日	12名	赤津	平成29年11月28日	15名
安佐野	平成29年12月5日	12名	//	平成29年12月12日	18名
三代	平成29年10月17日	20名	//	平成30年1月16日	26名
中ノ入	平成29年10月19日	9名	//	平成30年2月13日	16名
//	平成30年1月17日	6名	//	平成30年3月6日	13名

②認知症サポーター養成講座 要請に依って開催

- ・ 平成29年8月25日 受講者15名（湖南地区社会福祉協議会）

③地域住民による自主的介護予防事業モデル地区の活動支援

モデル地区名：横沢地区 実績7回 参加者81名（前年度9回 参加者76名）

支援内容：いきいき100歳体操、玄米ダンベルニギニギ体操、脳トレーニング、茶話会

開催年月日	参加者	特記事項
平成29年6月13日	12名	貼り絵制作（追加）
平成29年7月18日	9名	湖南地区社会福祉協議会のバスで買い物ツアー
平成29年8月1日	12名	健康講話（追加）
平成29年9月20日	11名	湖南地区社会福祉協議会のバスで買い物ツアー
平成29年10月31日	15名	そば道場、健康講話（追加）
平成30年1月30日	13名	新年会（追加）
平成30年3月13日	9名	つるし飾り制作（追加）

(3) 若い世代への福祉教育 実績2回

- ・ 平成29年9月25日 高齢者の疑似体験 郡山市立湖南小学校6年生26名

- ★ ・ 平成29年10月30日 認知症サポーター養成講座 郡山市立湖南中学校2年生20名

○郡山市委託事業協力 実績 2 回

- ・平成 29 年 6 月 15 日 高齢者疑似体験スタッフとして参加（大槻小学校）
- ・平成 29 年 9 月 12 日 認知症サポーター養成講座の高齢者疑似体験スタッフとして参加（行健小学校）

(4) 小磯カフェの開催 実績 10 回 参加者 147 名 目標 10 回

開催年月日	参加者	ミニ講座演題（講師）	ボランティア
平成 29 年 5 月 20 日	10 名	「認知症のおはなし」（湖南地区地域包括支援センター 主任介護支援専門員 伊東君江）	2 名
平成 29 年 6 月 17 日	14 名	「上手に食べて、元気に長生き！」（株式会社明治 管理栄養士 吉村梓先生）	2 名
平成 29 年 7 月 15 日	11 名	「認知症予防に向けた運動」（認知症初期集中支援チーム 作業療法士 池下英里先生）	1 名
平成 29 年 8 月 19 日	17 名	「安全・安心に暮らすために」（郡山北警察署舟津駐在所 所長 熊坂法久先生）	2 名
平成 29 年 10 月 21 日	13 名	「だまされないで、悪徳商法！」（郡山市消費生活センター 相談員 遠藤みよ子先生）	2 名
平成 29 年 11 月 18 日	15 名	「福祉用具利用について」（株式会社丸光ケアサービスレンタル 福祉用具専門員 橋本悟先生）	2 名
平成 29 年 12 月 16 日	15 名	「119 番通報について」（郡山消防署 湖南分署長 橋本浩先生）	2 名
平成 30 年 1 月 20 日	21 名	「感染症予防について」（太田小磯デイサービスセンター 准看護師 鈴木百合子）	2 名
平成 30 年 2 月 17 日	14 名	「体を動かして認知症予防」（あたまホーム 副主任機能訓練指導員 横堀克佳）	2 名
平成 30 年 3 月 17 日	17 名	「デイサービスってどんなところ？」（太田小磯デイサービスセンター 副主任生活相談員 入江均）	2 名

(5) その他

- 認知症高齢者SOS見守りネットワーク検索模擬訓練参加（平成 29 年 11 月 15 日）
- 福祉フェスティバル参加（平成 29 年 11 月 5 日）

2. 健全な財務体制の確保

事業所名	利用者数 ※（ ）は 29 年度計画値
湖南地区地域包括支援センター （湖南地区介護予防支援事業所）	86.6 名/月 （84 名/月）